

(仮訳)

2022年9月23日

日米豪印外相会合 共同発表

米国の国務長官、豪州、インド、日本の外務大臣が発表した共同発表は以下のとおり。

我々、米国の国務長官、豪州、インド及び日本の外務大臣は、第77回国連総会の機会に、包摂的で強靱な、自由で開かれたインド太平洋の推進を支持すべく、日米豪印による多国間協力を深めるため、ニューヨークで会合を行った。日米豪印のビジョンは、ルールに基づく国際秩序が堅持され、自由、法の支配、民主的価値、紛争の平和的解決、主権及び領土の一体性が尊重される地域のためのものである。

我々は、海洋における国際法、平和及び安全保障が、インド太平洋の発展及び繁栄を支えているという確信を再確認した。我々は、現状を変更し、又は地域の緊張を高めようとする、あらゆる一方的な行動にも強く反対する。我々はまた、ASEANの一体性・中心性、ASEAN主導の地域的枠組、「インド太平洋に関するASEANアウトルック」の実践的な実施に対する揺るぎない支持を再確認した。

世界の諸国が集まるこの場所で行われた会合において、我々は、国連の三本柱を含む国連憲章に対する日米豪印の揺るぎない支持と、国連及び国際システムの強化と改革に対する我々の確固たるコミットメントを強調した。日米豪印は、我々の時代の重要な課題を解決し、我々が共有し、相互に関連する資源を保護する国連への支持を確認した。この支持には、持続可能な開発のための2030アジェンダの完全な実施及び持続可能な開発目標の達成が含まれる。我々は、国連安保理が現在の国際的な現実を反映し、より地理的に多様な観点を取り入れるための、国連安保理における常任及び非常任理事国の拡大を含む、包括的な国連改革の課題を推進することにコミットする。我々は、国連を含む国際システムや多国間システムを一方的に覆そうとする試みに対処する必要性を強調する。

我々は、日米豪印のコミットメントの実現に向けた進展を歓迎した。特に、我々は、2022年5月に日米豪印の首脳が発表したインド太平洋地域における日米豪印の人道支援・災害救援(HADR)パートナーシップを運用可能とするためのガイドラインに署名したことを喜ばしく思う。我々は、2022年後半に豪州が主催するテロ対策の机上演習に期待している。また、我々は、各

国に対し、自国の領域内からのランサムウェア・オペレーションに対処するための合理的な措置を採るよう求める声明を発表した。我々は、海洋安全保障及び海洋状況把握を改善するための地域パートナーの取組への支援に対する日米豪印のコミットメントを改めて表明した。我々は、地域パートナーとの緊密な協議の下、海洋状況把握のためのインド太平洋パートナーシップを前進させるための進行中の取組を支持する。我々は、この地域が教育、偽情報等のその他の課題に対応することを支援するため、また、日米豪印の首脳により掲げられた健康安全保障、気候変動、インフラ、宇宙空間の平和利用、重要・新興技術、及びサイバーセキュリティに関するイニシアティブを推進するため、我々全体の専門性を最大限活用していく。

我々、日米豪印外相は、日米豪印の多国間協力に向けた我々のビジョンが、インド太平洋全域の人々の利益のための行動志向の関与に基づくものとなると決意した。我々は、2023年の早い時期にニューデリーで日米豪印外相会合を対面で実施する考えである。